



この資料は、アメリカの有名な女性コーラーのデボラさんが作った「女性コーラー向け」のものです。2004年6月26～27日に行われた「浜松FDC主催：第35回あじさいパーティー」で来日されたときに、日本の女性コーラーのために参考になる資料を、特にお願いして送っていただいた資料です。デボラさんに感謝申し上げます。

女性コーラーは男性コーラーと比較してもまた遜色ない同じ技量や手腕を有する期待され、また実際にその通りですが、長年にならば女性コーラーを困らせているものがあります。女性コーラーの発声範囲に収まる音楽/レコードがないように思えます。

## Patter



パター音楽は昔からコード和音の組み合わせで、多くの場合特におきとしたメロディの演奏がありません。従って、どの音楽を使っても音階や演奏和音にあわせれば、ダンサーを十分楽しませることが可能になります。この和音に合わせておこなうことは大体の場合男性女性に関係なく達成可能です。またその通りで、和音に対する耳がある人にとっては、他人と比較するとまた簡単なことです。

必要なら、ちょっとしたアドバイスと練習によって、ほとんどのコーラーは、パター音楽を効率よく使うことが可能になります。従って、女性コーラーが使えるパター音楽の選択肢は基本的には広いと言えます。パター音楽を選ぶことはまた個人的な問題ではありますが、ハッシュコールをするために音楽を選ぶとき、特に女性コーラーにとって気をつけなければならないことがあります。



楽器に注意.....

? フィドル

? バンジョー

? 金管楽器

上記に述べた楽器は全て女性の声質に対抗し、ダンサーがスクエアダンスコールを音楽から聞き分けを難しくして、

アンプの高音調整ノブを上げるのではなく下げて、これらの楽器音を弱めることができます。恐れずこれらの楽器音を幾分か弱めましょう。そうすればあなたの声は楽器の上から聞こえます。もしダンサーがあなたの声を聞きずらく理解できないのであれば誰も踊れないのです。

女性は一般的に男性の声より高い声を持っています。なぜでしょうか？男性と女性には基本的な構造差があるからです。男性の喉頭は重く女性の声帯は厚くなります。男性が思春期になるとその声帯は厚くなり声は女性より低くなります。女性の思春期はこの兆候は現れず、声帯への影響はまったくありません。周辺の軟骨組織は十代から二十代で硬直化し女性には高低声域の混合した声を発することとなるのです。

女性の声帯は男性より薄く胸声を使って歌うことができますが男性と同じパワーはありません。男性は裏声を使って女性の高声域と同じおとりの音を出せますが女性の真の高声域の音質とは異なります。また、アリの人はテノールの音域を歌えますが男性が歌う真のテノールとはその深さ響きが異なります。女性の声帯は男性のように厚くはないのです。女性が年をとるとその声帯は厚くなりますが男性のように厚くはありません。とらことは男性より融通が利くといえます。煙草を吸う女性の声帯も厚くなり男性の声域おとりを歌うことができますが歌うたびに息が灰皿のように臭うので誰もそうしたいはずでしょう。J さは煙草を吸うことよって声帯はそのしなやかさを失い、声の幅と多くの能力を少な限定することとなります。

そこで、皆に言われるように、なぜどの女性コーラーも男性と同じようにコールしようと、歌おうと、詠唱しようとするのでしょうか？女性コーラーの声帯は男性より先も融通が利くのです！この融通性を利用し、この融通性を正しく使えるよう勉強することが秘訣となります。あなたが選んだパー音楽をうまく使う能力を増大するために試行できる方法を下記に助言として幾つか述べます。

#### 1) 音楽を真によく知れなさい！自然科学者の目で焦点をおわせ勉強しましょう

- e あなたが選んだ音楽をCDやテープ録音しよく聞いて分析しましょう
- e イントロは何拍ですか？
- e 曲の終わりはどうなっていますか？
- e 和音(コード)は何時変わりますか？
- e 楽器の使用方法は..どのように、何時、何処で変わりますか？

#### 2) 和音(コード)進行内で倍音を見つける練習を始めましょう

- 🔊 ベース音を良く聞き、音楽進行軌跡を辿るように試行することで耳の訓練をします。
- 🔊 レコードの最初の音と最後の音を良く聞きましょう。主和音(コード)が使われています。
  - e 少なくともこの音がコールを始めるときに使える音となります。
  - e 次に、主和音(コード)の下ばかりではなく上の音も加えて変化を与えることにより、メロディーを加え詠唱できるような、「一音ジョー」のように一音だけで、または「お話しパート」のようにお話しだけで一晩の全ダンスをコールし、粗暴な経験をダンサーに与えることとなります。
- 🔊 音を聞きながら1から8まで数えましょう(コールはしません)。
- 🔊 数えるところを録音し、どのような音になっているか良く聞いてみましょう。
  - e あなたの和音構成は正しい(協和音)ですか、それとも不協和音ですか？
  - e もし不協和音であった場合は、その音楽を自分と同じ高さでできる別の人を見つけて録音をしてもらい、その人が使った音に従って(上から共に)歌って発声することにより、あなたの耳を訓練しましょう。

### 3) フロのボイストレーニングを受けるよう真剣に考えましょう

- 🎤 胸声 (コールする声) を強化します。
- 🎤 音声を効果的に調整できるようになり、声域を広げます。
- 🎤 和音構成に対する耳の訓練を助成します。
- 🎤 キーに合わせて歌え、音をはずし難くなります。
- 🎤 正しい呼吸を教えられ、コーラー生命が長くなります。

**重要な注意点...** 常に胸声でコールするようにしましょう。 そうしない話し声でピアーをコールすることになります。 高声域でピアーを詠唱しようとする女性コーラーより胸声でコールする女性コーラーのほうがはるかに好結果を得ます。 いわゆる聖歌隊のソプラノのようなコールを聞くことはダンサーにとって単に楽しむものではありません。 思い切って高声域に突入するのはパフォーマンスを表す効果的な方法ではありますが、もしそうするのであればぜひ使うのではなく、早くやめましょう。 効果的に詠唱することを学びましょう。 そうすればおぼろしコーラーとして別扱いされます。 誰でも話すことはできます。 コーラーはコールする必要があり、パフォーマンスととも詠唱することを学ぶという事です。 レコードはそこあります。 さあ自分のものにしましょう。

## Singing Calls



ほとんどのシンギングコールは男性コーラーによって作られていて、キーはそのコーラーがコールしやすいキーになっています。 これからコールを始めようとする女性コーラーにとってやめたいようなことです。 女性コーラーがコールできるレコードはほとんど存在しないわけのような状態です。 しかし、コールを始め少し経つとそうでもないと思うようになります。 このような状況にどのように対処したらよいかわかってくるからです。 今までとは違って多くの女性コーラーが、いろいろなレコード会社でレコードを出していますが、皆このことは解決されていません。 われわれ女性コーラーも男性コーラーとまた同じように必ずしもレコードを出した女性コーラーと同じ声域で歌うとは限らないからです。 しかしながら、ピッチ変換機やMP3ファイルの出現によって元のキーをコンピューター編集プログラムで巧みに処理する状況はかならずしも容易になり、女性コーラー (男性コーラーもですが) にもシンギングコールの選択肢は広がります。

しかしこのような装具の恩恵を受けずレコードを使おうとするならば、次に述べるようになると選択肢は更に広がります。

- 1) レコードケースを眺めてみましょう。 比較的レコードがたくさんある男性コーラーはいますか?
  - 🎤 もしたとえ彼が彼の1オクターブ上で歌っていることとなります (すなわち彼が「リトナ」の貴女はアイトです)。 この男性コーラーに似た声域を持つ別のコーラーを探し始めましょう。
- 2) レコードの声域に注意しましょう。 キーではな声域です。
  - 🎤 一番高い音は何ですか?
  - 🎤 一番低い音は?
  - 🎤 声を張り上げないでその音は出ますか?
  - 🎤 もしあれば、その音の代わりに和音にあった音は出せますか?
- 3) そのレコードの中で高すぎたりまたは低すぎたりする部分があるとすると、その部分を単に話すだけにする効果はどうですか? 多分できたとしても度を越さないといい条件ですが…。

- 4) もしキー全体が高く簡単に歌えないような場合、そのほとんどを和音に合った音に置き換えて歌うことはできますか？ またそうしないですか？

上記 1- 4は結果的に重要な事項を効果的に処理することができる点で意義深いものです：

- 5) 本当にその歌が好きですか？
- ⊗ もし好きなら一生懸命練習して自分の持ち歌に聞こえる価値があります。
  - ⊗ もし大して訴えるものがないならなぜ悩む必要がありますか？ 選ぶものは他にたくさんあります。
- 6) 思い切って言葉も自分に合うように変えましょう 男性が歌った歌として書かれているとらだけなぜそのまま使うのをやめてしまうのですか？

気楽に歌えるシンキングコールを見つけたことはコーラーすべて女性ばかりで男性にもよって挑戦となります。皆それぞれが作られたコードとはほとんど異なる声域を持つからです。粘り強く進んで新しい試みをしましょう やればできるのです。好結果を期待して男性のように歌うことはありません 男性と同じようにしようとする貴女そのもの 女性であることの価値を下げることはありません。女性であることは強みでありそれを使いましょう 強調して賛美しましょう “ねえ良くなってきてるじゃない”

